

＜第46回兵庫県障害者技能競技大会＞

ビルクリーニング競技 事前公表課題

禁止事項

- 1 競技時間中に他人から指導や助言を受けてはいけません。
- 2 他の選手やスタッフの妨害をしてはいけません。
- 3 競技時間に遅刻、及び競技時間中に許可なく指定席を離れてはいけません。
- 4 故意に備品や機材等を毀損させてはいけません。
- 5 その他、大会運営や競技実施に支障を来す恐れがある行為等をしてはいけません。

一般的な注意事項

＜共通＞

- 1 課題は、「弾性床清掃及び机上清掃」です。
- 2 作業面積は、16 m²（4×4m）とし、幅木による区画とし、幅木の上には、壁があるものとして作業を行ってください。
- 3 作業場所にある机は、移動させないでください。
- 4 規定時間は10分です。
残り時間が3分になったところでアナウンスします。
規定時間を越えたところで打ち切りとします。打ち切りとなった競技者は、専門委員の指示に従ってください。

- 5 作業開始の指示は専門委員が行ないます。競技者は、挙手または「はじめます」と申告してスタートしてください。競技が終了したら挙手または「終わりました」と申告してください。又、作業ごとの入退出を行なう際には、会釈（軽く挨拶）や礼）をしてください。競技中は上記以外の声は出さないでください。
- ※ 始めと終わりの申告は、声を出すが困難な場合は、挙手のみで構いません。
- 6 課題において椅子を机の上にあげる際は、安全に配慮した形で上にあげてください。
- 7 作業終了後、競技時間を発表します。
- 8 使用できる資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
- 9 使用した資機材は、競技委員の指示に従って後片付けを行なってください。
- 10 競技の採点は、作業準備・作業動作（手順）・仕様誤り・作業態度・作業時間の5面から審査し、加点方式により行います。
- 11 競技者は、本競技に適した服装をしてください。

＜課題 弾性床清掃及び机上清掃＞

- 1 床の材質は、塩化ビニール系の弾性床面とします。
- 2 作業は、床面の除塵・拭き・ごみ処理及び机上拭き作業です。
- 3 本課題で使用する資機材・消耗品は、作業用カートに載せてありますので、不足なものがないか点検し使用してください。
- 4 モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に適切な長さに競技者自身で調節してください。
- 5 乾式モップ用のクロスは、競技者が作業前に乾式モップヘッドに取り付けてください。
- 6 クロスを装着した乾式モップヘッドは作業カート上部、モップの柄は作業カートの所定の位置にそれぞれ競技開始前にセットしてください。
- 7 床のゴミは、「おがくず」とし、50ml程度をまいたものとします。

【資機材一覧】

1. 競技会場に準備されているもの

品名	寸法又は規格	数量
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
作業表示板		1個
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1本
ラーグ（モップ房）	260g 白色	1個
小型ぼうき	30cm幅用	1本
乾式モップヘッド	63cm	1個
文化ちりとり	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1個
タオル	無地 水拭き用（青色） 1枚 無地 から拭き用（白色） 1枚	2枚
ダスタークロス	69cm幅の不織布	1枚
ビニール袋	ゴミ箱用替袋	1枚
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
イス	パイプ式折りたたみ	1脚
ゴミ箱	角型	1個

2. 選手が持参するもの

品名 ひんめい	寸法又は規格 すんぽうまた きかく	数量 すうりょう
作業着（上・下） さぎょうぎ うえ した		1 着 ちやく
作業帽又は三角巾 さぎょうぼうまた さんかくきん		1 個 こ
作業靴 さぎょうぐつ		1 足 そく

*持参するものは上記のものに限るが、同一品目のものを予備として持参することは差し支えない。

かだい だんせいゆかせいそうおよびきじょうせいそう さぎょうじかん ふん
課題 弾性床清掃及び机上清掃（作業時間:10分）

さぎょうしやう
作業仕様 1-1

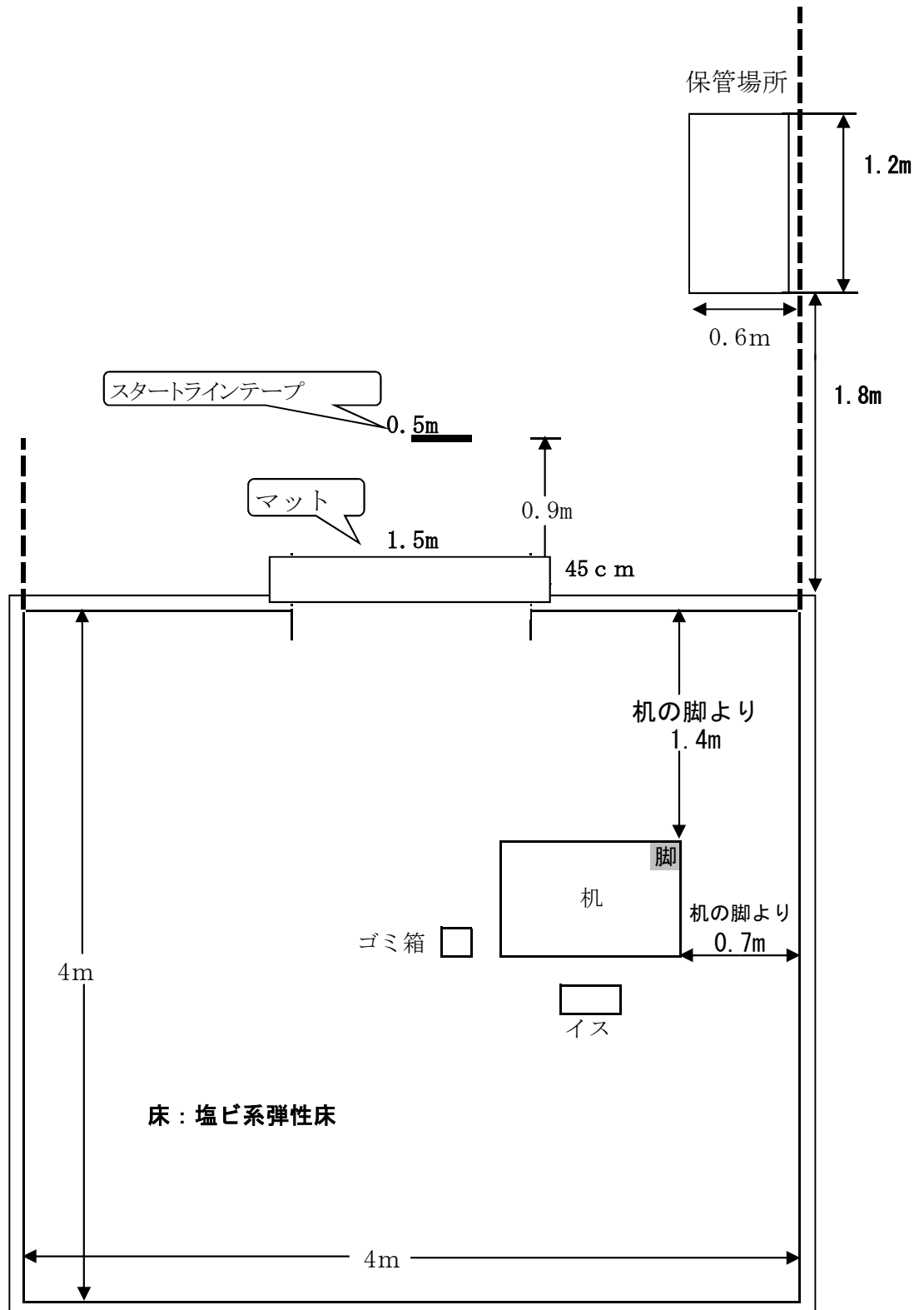
さぎょうこうてい 作業工程	さぎょうほうほう 作業方法	ほそくじこう 補足事項	びこう 備考
しきざい じゅんび 資機材の準備	・作業に必要な資機材（タ オル・モップ等）は、す でに作業カート（以下カ ート）上部に準備され ている。 ①ワンタッチモップ柄 （以下柄）の長さを 調整し、カートの所定 の場所にセットする。 ②ダスタークロスを乾式 モップヘッド（以下ヘッ ド）に装着し、カート 上部に置く。	・必要な資機材及び 数量は、資機材 一覧を参照する こと。 ・資機材が過不足無 く準備されている か点検し、異常が あれば申し出る。	資機材の点検 終了後、 係員の指示 に従い所定 の位置に立 つ。
きやうぎかいし あいさつ 競技開始の挨拶	所定の位置に立ち、専門委 員の始めの合図で「はじめ ます」と挨拶を行い、 競技を開始する。	片手を挙げ、一礼す る。	作業開始を 申告する。
さぎょうじゅんび 作業準備	作業用カート（以下カー ト）を保管場所から作業 場所の近くへ移動し、 作業表示板を立てる。		
にゅうしつ あいさつ 入室の挨拶	入口にて、室内に向かっ て入室の挨拶を行 う。	「失礼します」と 一礼して入室す る。	
いすあげとゴミ 処理 (1)イスを上げる (2)ゴミの回収 (3)ゴミ袋のセ ット	①作業前にイスを机上に 上げる。 ②ゴミ箱にセットされて いるビニール袋を 回収する。 ③回収したビニール 袋をカートの袋の 中に入れる。 ④ビニール袋の替袋を 取り出し、ゴミ箱にセ ットする。	・机は動かさない。 ・イスは机からはみ 出さないように正し くのせる。 ・ビニール袋を正し くセットする。 ・ゴミ箱は机からは み出さないように正 しくのせる。	

	⑤ゴミ箱を机上に上げる。		
じょじんさぎよう 除塵作業 (乾式モップ)	①ダスタークロスを装着した乾式モップヘッドは入口の養生マットの上でモップの柄に取り付ける。 ②乾式モップで、外から入口を除塵し、入室する。 ③室内での作業手順は、乾式モップ作業手順のとおり行う。 ③ゴミは前進しながら出口に向かって1箇所を集める。 ④ ヘッドを柄から外す。 ⑤使用済みのダスタークロスはヘッドから外し、カートの中の袋の中に収納する。 ⑥柄とヘッドをカートに戻す。 ⑦小型ぼうきと文化ちりとりを使用し、集めたゴミを回収する。 ⑧ゴミの取り残しがないか点検する。 ⑨小型ぼうき、文化ちりとりをカートに戻す。	・柄の先端には親指を添える。 ・ヘッドの辺は広い方を先行させる。 ・入口のゴミを踏まないように足場を確保する。 ・ヘッドは、床から離さない。 ・使用済みダスタークロスはカートの袋の中に入れる。 ・ごみの取り残しがある場合は、小型ぼうきと文化ちりとりを使用し回収する。 ・ヘッドは、カート上部に、スポンジ面を上にして、邪魔にならないように置く。	ごみは、おがくずを 50ml 程度均等にまいてある。 点検の際に声を出さないこと。

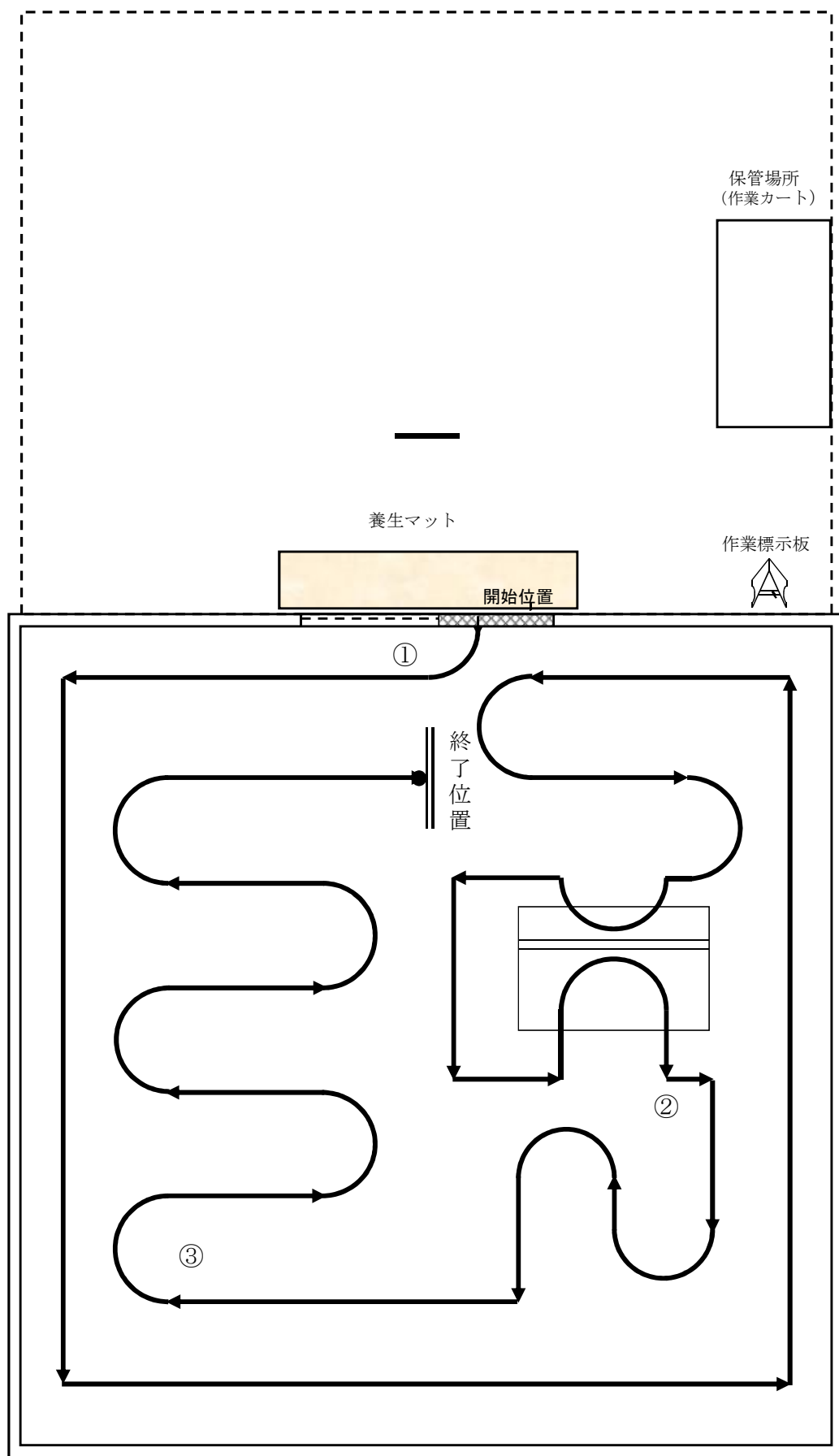
さぎょうしょう
作業仕様 1-2

さぎょうこうてい 作業工程	さぎょうほうほう 作業方法	ほそくじこう 補足事項	びこう 備考
みずふきさぎょう 水拭き作業 (モップ)	① コート全体を拭く。 ② 室内での作業手順 は、水拭きモップ 作業手順のとおり 行う。 ③ コーナー周り と 机 の 足元は房糸に手を添え て拭く。 ④ モップは適宜裏返し、 モップ全体を使って拭 く。 ⑤ モップは横拭きとし、 後退しながら拭く。	・拭き残し、拭きむら のないようにす る。 ・柄の先端には親指 を添える。 ・房糸が幅木、机 の 脚部に触れないよ うにする。 ・拭いたところを踏ま ないようにする。	
ごみ箱とイス下 ろし	あんぜん おと た 安全に音を立てないよう に下ろす。	あし うえ お ・足の上に落とさない ように注意する。	
きじょうふ 机上拭き	① 青色のタオルを八折に して持つ。 ② 机 の上を青色のタオ ルで水拭きした後に、 白色のタオルでから 拭きを行う。	・タオルが汚れたら、 きれいな面を出し て拭く。 ・机 の縁を含めて、 四隅から中央へ と拭く。 ・横拭き・縦拭きを 行う。	
てんけん 点検	ゆび さ また もくしてんけん 指差し又は目視点検を 行う。	しきざい わす ・資機材の忘れ、ゴミ の取り残しなどの 点検を行う。	てんけん さい こえ 点検の際に声 をださないこ と。
たいしつ あいさつ 退室の挨拶	でぐち しつない む 出口にて、室内に向かっ て退室の挨拶を行う。	しつれい 「失礼しました」と 一礼して退室する。	
しきざい かたづ 資機材の片付け	さぎょうひょうじばん 作業表示板をカートに 収納し、カートを保管 場所に戻す。		
しゅうりょう あいさつ 終了の挨拶	しよてい いち た 所定の位置に立ち、 終了の挨拶を行う。	お 「終わりました」等 の意思表示を行 う。	さぎょうしゅうりょう 作業終了を 申告する。

標準配置図(モデル)

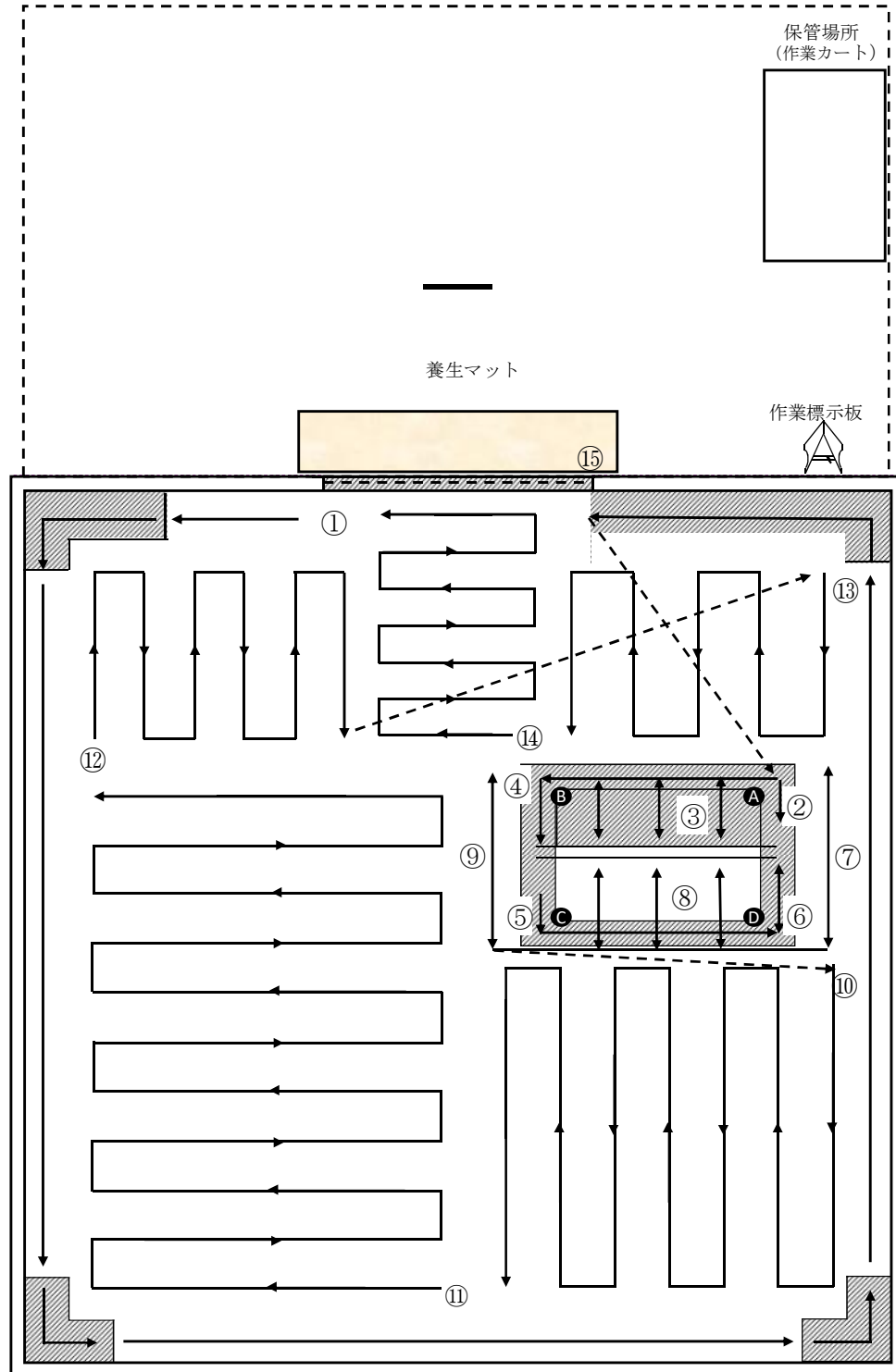


乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドの振る回数ではありません

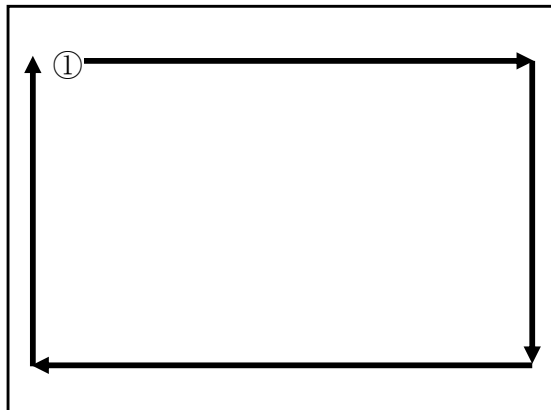
水拭きモップ作業手順



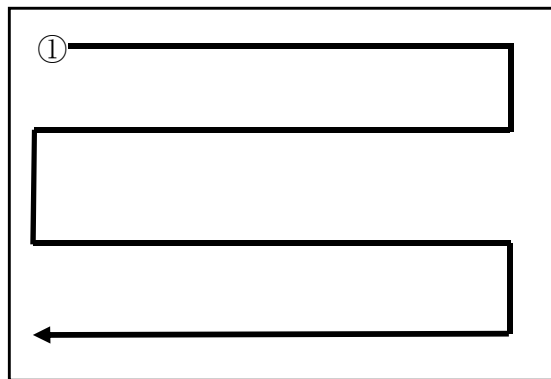
注： 印は手を添える箇所を示す。 水拭き回数を入れたものではありません。

- ①巾木側を1周すること。（コーナーは手を添えます）
- ②Aの足回りを手を添えて拭く
- ③机の下を手を添えて拭く
- ④～⑥B足、C足、D足の順に足回りを手を添えて拭く
- ⑦机の脇（壁側）を拭く
- ⑧机の下を手を添えずに拭く
- ⑨机の脇（入口側）を拭く
- ⑩～⑭スパンを決めて拭く
- ⑮入口を手を添えて拭く

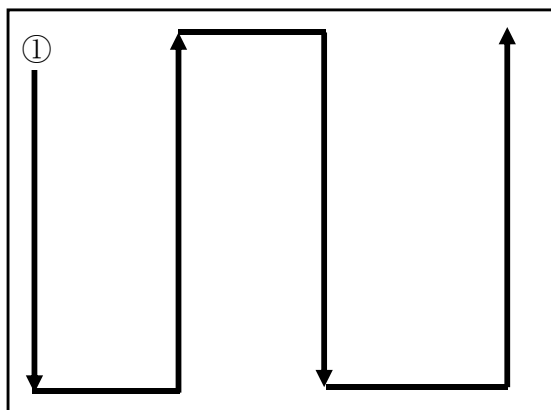
机上拭き作業手順



①四角く、縁にそって拭きます。
(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。
(このとき、拭きムラの無いように注意します。
また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)



③縦拭き：拭き残しがないように中面を上下に拭きます。(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、上下の動きにより往復回数は、異なります。)

④から拭きも同じように行います。

注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で持つ人の場合は、左右を逆として構いません。